

川の安全利用に向けた取り組み

「川の安全利用学習会～屯田小学校～」を開催しました！（7月12日）

7月12日（火）に屯田小学校4年生の児童97名と先生3名が参加して、川の安全利用学習会を行いました。創成川（北三番橋）の河川敷で、川のかたちや川に近づく時の注意点、川の危険なところを学ぶ「川の危険箇所学習」、創成川に棲んでいる魚類や鳥類等を学ぶ「水辺の生物学習」を実施しました。

● 実施内容

□ 川の危険箇所学習



降雨などによって増水した河川の危険性をパネルで学習しました。



川岸の護岸は高い壁になっているところがあることを学びました。



川で流された人の救助には、とても大きな力が必要であることを学習しました。



川で安全に遊ぶためのルールについて学習しました。

□ 水辺の生物学習



創成川に棲む魚の種類や特徴をパネルで学びました。



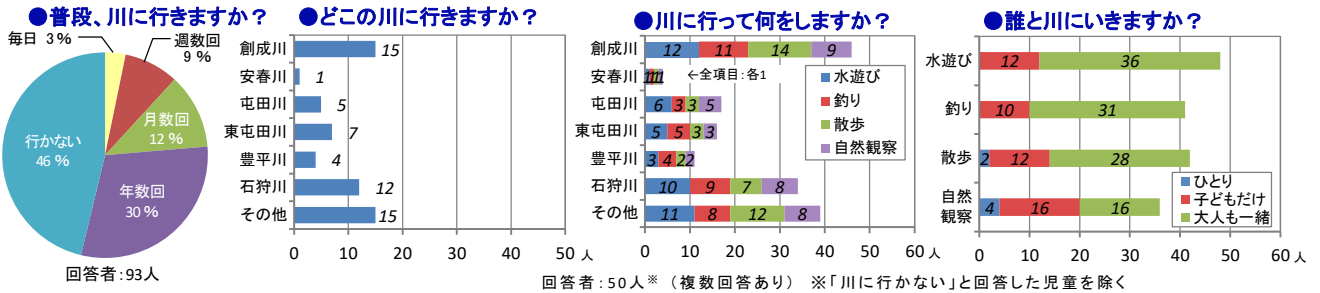
川底に棲む水生生物の種類と数から、その地点の水質が判定できることを学びました。



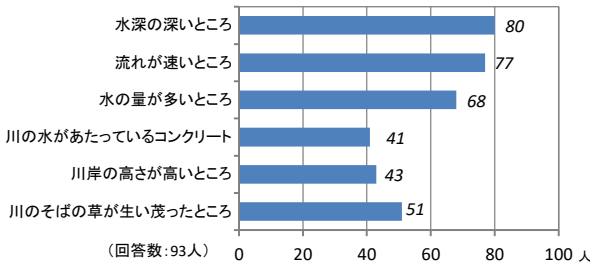
創成川周辺で観察できる鳥の種類や特徴をパネルで学びました。



● アンケート調査



● 川のどこが危険だと思いますか？



アンケートの結果、約半数の児童が川を訪れており、身近である創成川を中心に多目的に利用していることが分かりました。「自然観察」は子供だけでかけることもあるようですが、水際に近づく「水遊び」や「釣り」の場合は、半数以上が大人と一緒にいることから、危険性についてある程度理解しているものと思われます。また、今回の学習会を通じて、多くの児童に川の様々な危険箇所を改めて認識してもらえました。今後も、学習会で学んだルールを正しく守り、川と上手に安全にふれあってくれることを期待します。

● 学習会に参加した感想

川の安全利用学習会を体験してみて「わかったこと」、「楽しかったこと」など、児童達・先生達に答えてもらいました。

- ★ いつもの創成川に雨がふったら、すごく水量がふえていてびっくりしました。あと、トビが高い所だったらあんなに小さく見えるのに、近くで見たらものすごく大きくてびっくりしました。
- ★ 川のあふないところや生き物のしゅるいを、わかりやすく説明してくれたのでおもしろかったです。川の深さは自分の身長くらいでびっくりしました。
- ☆ 実際に子どもたちの目で見て感じる学習というのは、本当に子どもたちの心に残る学習になるということを再認識しました。調べ学習だけでは、川でおぼれた際の対処法や救助の仕方を学ぶことができないことなので、本当に貴重な時間となりました。

★：児童 ☆：先生

お問い合わせ先